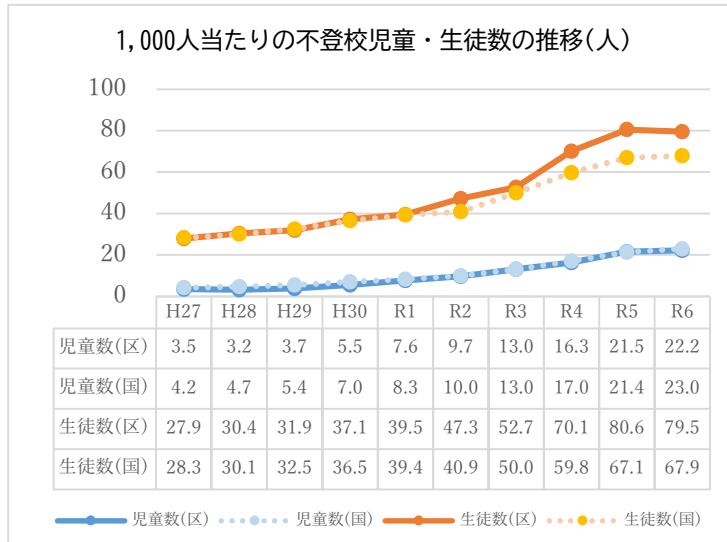
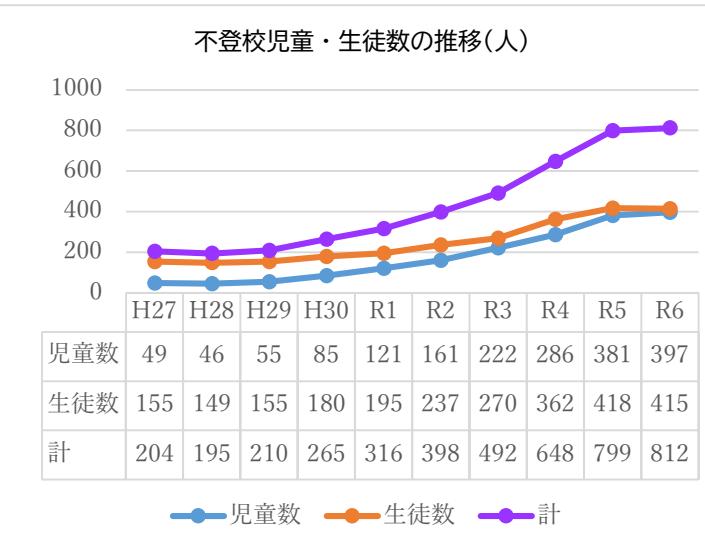


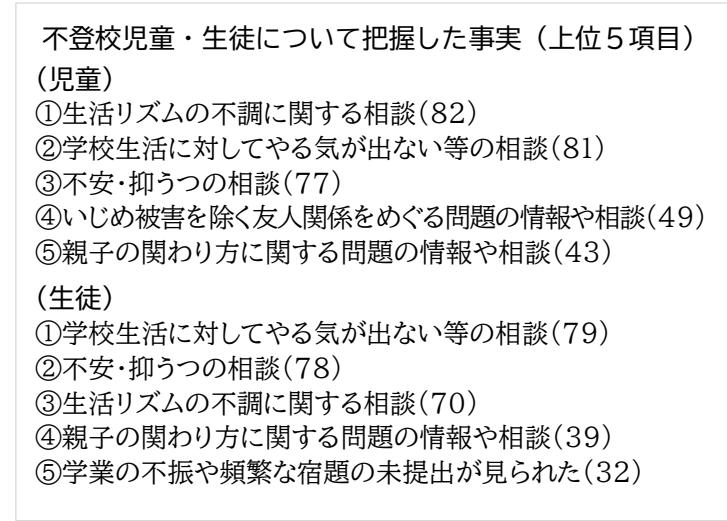
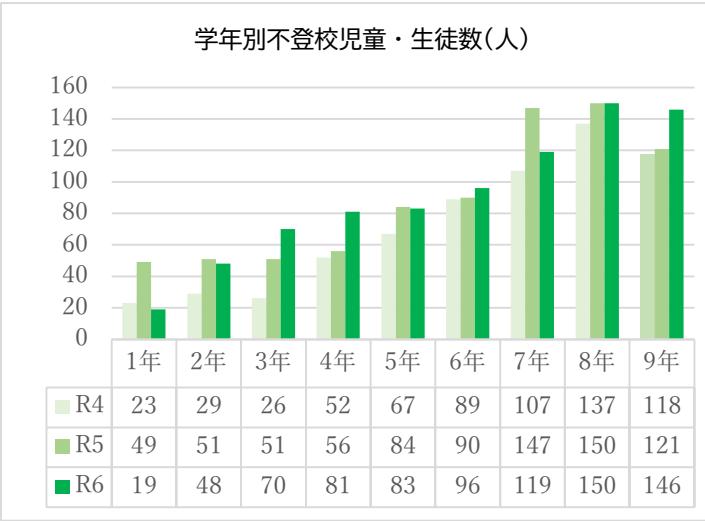
令和6年度 品川区立学校における不登校・いじめの状況について

※資料中の区のデータは独自調査の数値を使用している。また、国の数値は国が公表した「令和6年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について」(令和7年10月)より引用した。

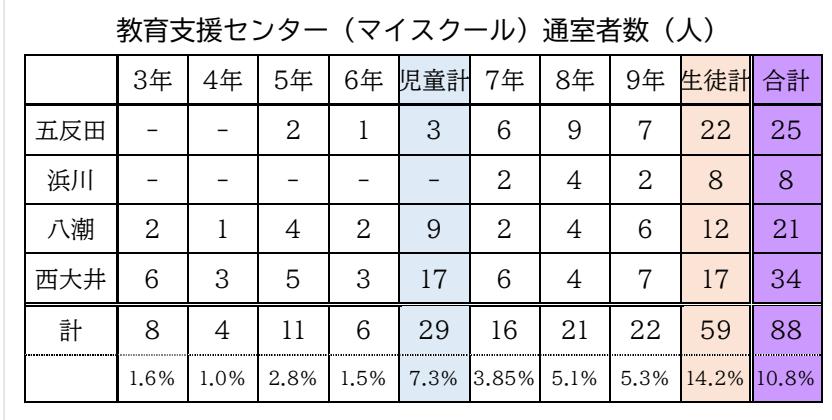
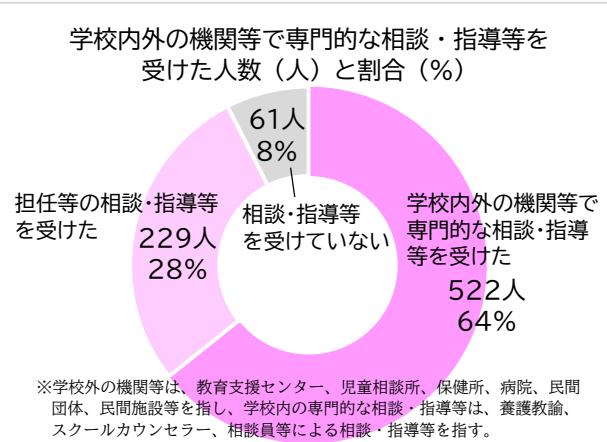
- 不登校児童数397人(前年度381人)、生徒数415人(同418人)、計812人(同799人)であり、1,000人当たりの不登校児童数22.2人(前年度21.5人)、生徒数79.5人(同80.6人)である。
- 不登校児童生徒数は、過去最多となった。前年度と比較して、児童は微増、生徒は微減となった。



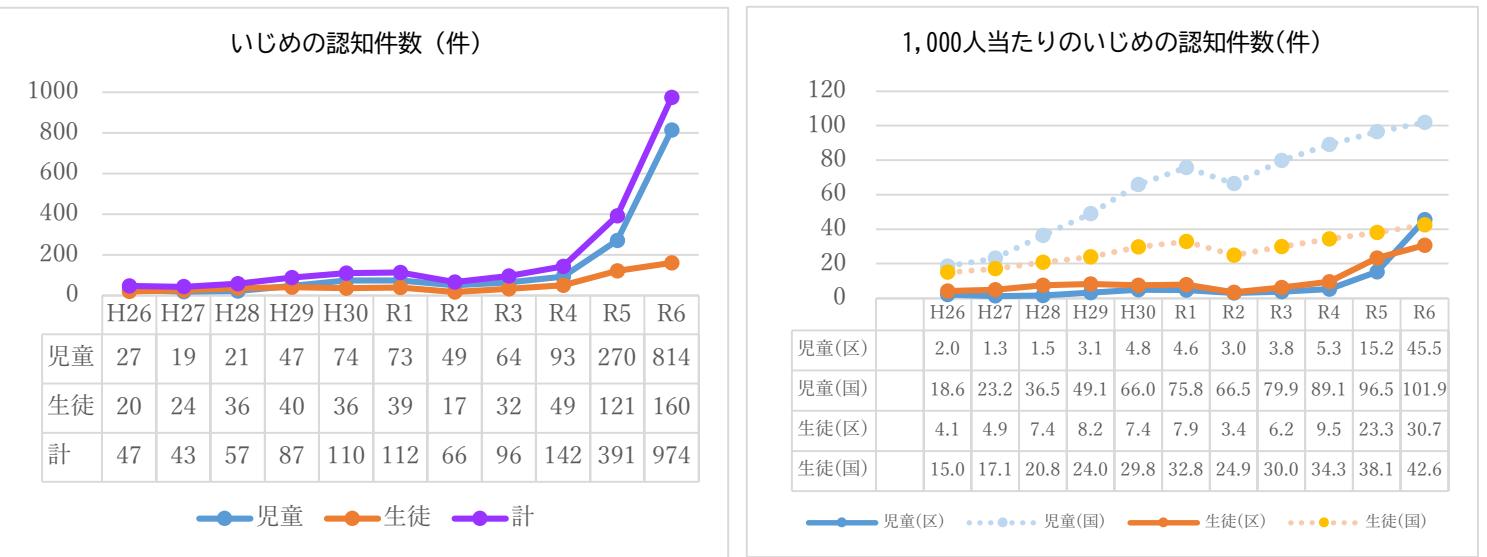
- 学年別不登校児童・生徒数は、前年度と比較して1・7年については大きく減少した。
- 生活リズムの不調、学校生活へのやる気、不安・抑うつが児童・生徒ともに上位を占めている。



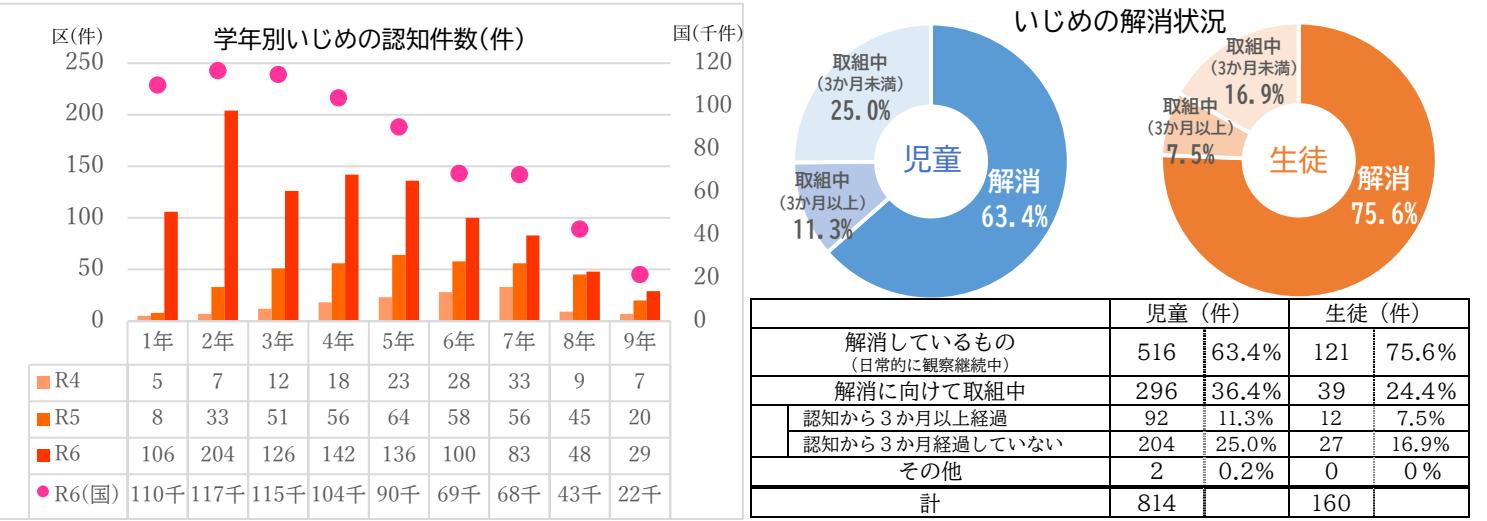
- 学校内外の機関等で専門的な相談・指導等および担任等による相談・指導等を受けていない不登校児童・生徒は61人(児童32人・生徒29人)で不登校児童・生徒全体の8%である。
- 教育支援センター「マイスクール」の利用者は88人で、不登校児童・生徒全体の10.8%である。



- いじめの認知件数は974件(児童814件、生徒160件)、前年度より583件(149%)増加している。
- 児童・生徒1,000人当たりの認知件数は児童45.5件、生徒30.7件である。



- 学年別いじめの認知件数は、全学年で前年度より増加している。また、国と比較して低学年での認知件数が少ない傾向がある。
- 児童は6割、生徒は7割以上のいじめについては解消しており、日常的に観察を継続している。



- いじめの態様については、「冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、・・・」が最も多い。
- いじめの重大事態の発生件数は5件である。
- 全件とも2号(不登校)重大事態に該当する。

